



小学校における

景観学習のススメ！

身近な “景観” から
取り組む総合学習

◆ 『景観って何？』から始める 地域の魅力や課題 の発見！ ◆

1. 景観学習のねらい ~総合的な学習の時間を活用して~

2. 景観に注目した総合学習の手引き ~実施事例より~

3. 取組事例 ~学習の流れ~

岩手県

学習指導要領により、「生きる力」に欠かすことができない「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」の育成が重視されています。



総合的な学習の時間（総合学習）で、子どもたちは、

- ① 自ら課題を設定していますか？
- ② 課題解決のための情報を収集していますか？
- ③ 収集した情報を整理や分析していますか？
- ④ 課題を解決し、それをまとめたり表現したりしていますか？
- ⑤ 課題の解決により、新たな課題を見つけていますか？
- ⑥ ①～⑤の探究の過程が繰り返されていますか？



自ら課題を見つけ、探究活動に取組む子どもの育成



「あれって何だろう。
気になるなあー」

デジタルカメラ
40台無料貸出。

「そうそうあそこ
にあるね」
「なるほどね」

「景観シート」で
まち歩きを振り返ろう

- ・総合学習を改善したい。
- ・総合学習で子どもたちに必要とされる資質や能力を育成したい。



景観？

景観学習って何？

詳しくは、

次のページへ。

「いろんなことが
見えてくるね」

講師派遣経費は
県が負担

1. 景観学習のねらい

～総合的な学習の時間を活用して～

- 子どもたちは、「まち歩き」しながら自分で写真に撮りたい景観を見つけることによって、自ら課題を見つけ、学び、考え、自分たちの住んでいる地域に興味や愛着をもち、その良さに気づくことができます。
- 景観学習は、身近な「景観」を切り口として景観に関心をもち、良好な地域づくりに関わる意識をもった“人づくり”をねらいとした取組みの第一歩となります。

①

子どもたちが身近な景観を通じて地域の魅力や課題を発見する体験型学習です。



- 見慣れた学校周辺でも、子どもたちはさまざまな景観を発見します。
- 「好きだな」「ちょっと嫌だな」「不思議だな」。子どもたちの視点から、地域や生活等のさまざまな人々と周辺環境の関係に気づくきっかけとなります。
- 子どもたちの自分なりの課題が写真の中から現われ、言語化することで、次にその解決への自分なりの取組みが見えてきます。

②

地域を素材とした「総合的な学習の時間」の題材として最適な学習です。



- 景観学習は、それぞれの学校のある地域特性を踏まえ、創意工夫しやすい学習です。
- グループ学習や学年を横断した授業実施も取組みやすく、考え、調べ、表現する活動が中心となります。
- 地域のさまざまな資源を探したり、地域の人々の参加、協力による取組みにも有効です。

参考

「景観」とは？

- 「景観」とは、まちや地域がどのように見えるか、ということですが、その字が示すとおり、対象となる景（風景、景色）があり、それを観る人がいて、初めて成り立つものです。
- 「景観」はそれを観る人の心に現れる景色だとも言えるでしょう。
- 「景観」には、地域の歴史や、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、技術の進歩や法律等の制度など人々の暮らしや経済活動などのさまざまな背景があります。「景観」には、人間と環境の関係が表れているのです。

※出典：「学校における景観まちづくり学習の手引き」国土交通省

景観（景十観）

- 景～景色、風景
- 観～みること

観る（みる）

- 見て、ちょっと考えてみる
- 見て、不思議だなあと思う
- 見て、好きだなあ（ちょっと嫌だなあ）と思う

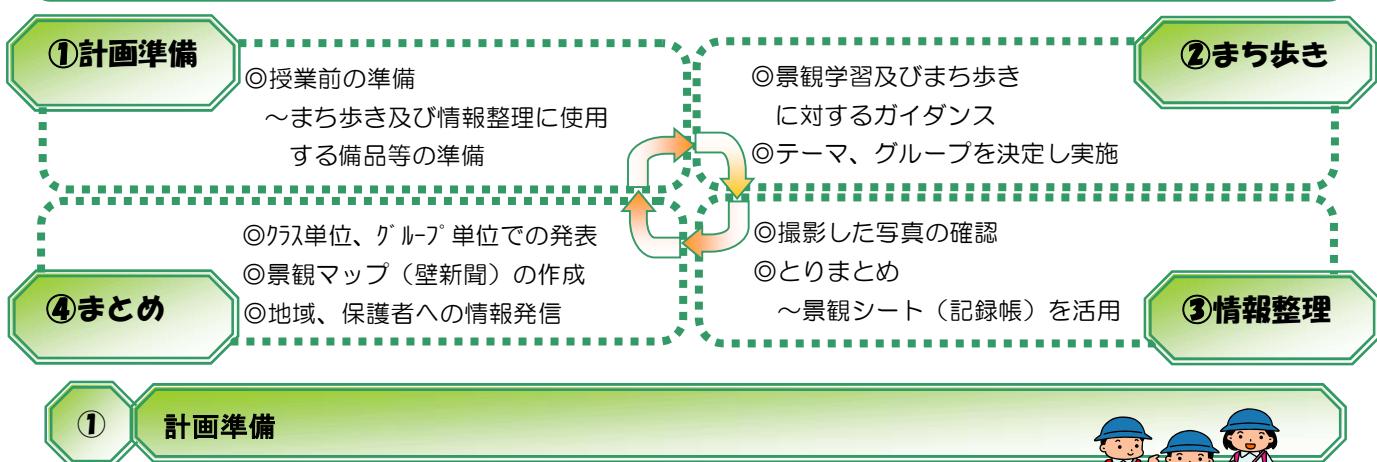


参考

「まち歩き」とは？

ここでいう“まち歩き”は、歩いて目で見て、地域の「良い（好きな）ところ」「悪い（嫌いな）ところ」「気になる（不思議な）ところ」などのテーマに応じて景観を探すこと、地域の現状、成り立ち及び将来を考えることです。

2. 景観に注目した総合学習の手引き ～実施事例より～



○景観学習のスケジュール調整について

- ・講師派遣を活用する場合は、講師スケジュール・学校行事予定等をふまえ、授業内容・日程調整に係る事前打合せを行い、実施日調整をします。
 - ・県都市計画課から備品の貸出のみ希望される場合は、担当まで早めの連絡をお願いします。
 - ・「②まち歩き」と「③情報整理」の授業間隔は、写真の整理及びまち歩きからの時間経過等を考慮し、1週間程度が目安です。

○授業前の準備

- ・まち歩き及び情報整理に使用する備品等の準備
 - ：デジタルカメラ ～写真を撮ることで観察意識が高まり、撮った写真から気づくこともあります。
 - ：まち歩きマップ ～どんなルートで歩くか、事前に時間や地域の状況に応じて検討します。

◆支援情報◆

デジタルカメラ（40台）、クリップボードを授業で使用される学校へ貸し出し致します

詳しくは県都市計画課へ



◇ひとくちメモ◇ 一まち歩きのルート検討一

住宅地図やウェブ上のマップなどで検討できます。

2コマ、90分で2km程度が目安です。

ルート検討でご相談がありましたら、お気軽に県都市計画課まで。

「〇〇周辺をまち歩きしたい。」、「まち歩き中、トイレ休憩ができるようにしてほしい。」など、お気軽にご相談ください。



②

まち歩き

○景観学習及びまち歩きに対するガイダンス

- ・電子黒板などにより、“景観”や“まち歩き”についての授業を実施します。
- ・景観に関する専門家の協力による支援を受けて実施できます。（講師派遣に係る費用は県で負担します。）

1. 「景観」ってなんだろう？

景観（けいかん）

景：景色、風景

観：みること

★でも、どうして、「見る」という漢字を使わないのでしょう。

「景観」ってなんだろう？

なんだかとっても“気になる景観”



なんだかとっても“気になる景観”

★観る（みる）

- 見て、ちょっと考えてみる
- 見て、ふしきだなあと思う
- 見て、好きだなあと思う
- 見て、ちょっといやだなあと思う
- 見て、もっと見たくなる

→それが「観る」

そういうえば「観察」ということばもあったね

★ いいもの・わるいもの・気になるもの（イギリスの学校）



★観る（みる）



近い距離で見るもの

良いもの・悪いもの・気になるもの



遠くから眺めるもの

○テーマ

- ・良い（好きな）景観、悪い（嫌いな）景観、気になる（不思議な）景観などさまざまな観点で撮影するテーマを示してあげて、撮影マナーを守った上で自由に写真を撮らせます。

○グループ

- ・クラスの人数、準備できるカメラの台数、まち歩きをサポートするスタッフ人数及びルート数を考慮して、グループ分けやまち歩きをする日程をきめて実施します。

○注意事項（撮影マナー）

- ・車やバイクなどの往来に気を配るとともに、一般の方の敷地に勝手に出入りしないよう留意しましょう。また、周囲の方に対する景観学習への趣旨理解に努めましょう。

まち歩きのヒント

1. 写真をとると何かが見えてくる

ムダな写真は一枚もない

だから、いっぱいとてみよう

2. 見えないものを写真にとる！？

とりたいのに、とるものがない

こんなものがあったらとりたかった

3. 同じものを写真にとってもきっと違う

何をとりたいかは、人によって違う

だから、自分の好きな写真をとろう



グループ毎に各ルートへ出発！

③

情報整理

○写真の確認

- 撮った写真の中から、あらかじめ決めたテーマの写真を決めた数だけ選定します。例えば、3 テーマそれぞれ 1 枚ずつなど。撮影枚数、作業時間・クラスの人数を考慮して設定します。

○とりまとめ

- 選定した写真を使用して景観シート（記録帳）に、①テーマは？②どう思ったの？③タイトルは？といった 3 点をまとめることで、自分なりの地域への思いや課題の発見などに気づくきっかけになります。

※景観シート（記録帳）は、岩手県ホームページ（[県土づくり>都市計画・下水道>景観・まちづくり>景観学習>景観学習のススメ](#)）からダウンロードすることができます

- グループ毎に大判用紙に写真と付せん用紙を使用してまとめることも可能です。
- 授業支援システムを使用したとりまとめ、景観マップの作成等も可能です。

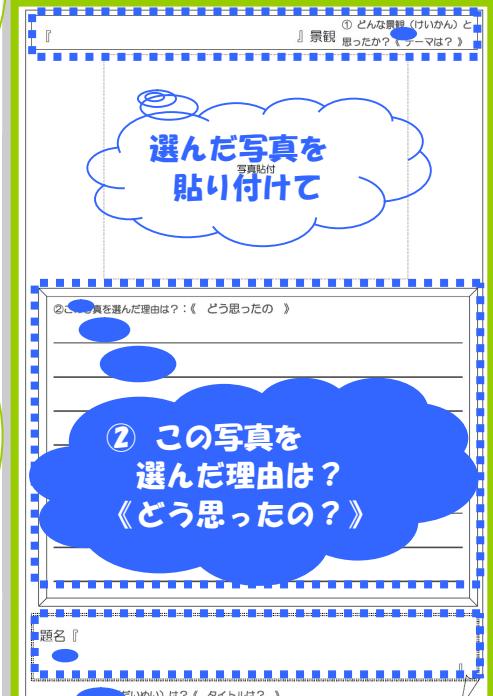


**4～6年生
みんなで
まとめ**

題名をカラーペンで書くと作業が楽しくできます♪

**① どんな景観と
思ったか？
《 テーマは？ 》**

＊＊ 景観シート ＊＊





**3年生も
たくさん
選んでます**

3 枚にこだわらず、たくさん選んでみて♪

**② この写真を
選んだ理由は？
《どう思ったの？》**

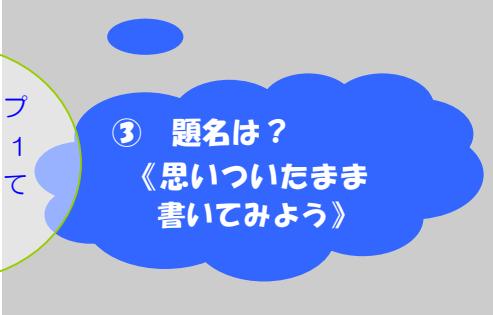




**みんなでの
まとめも
楽しいかも**

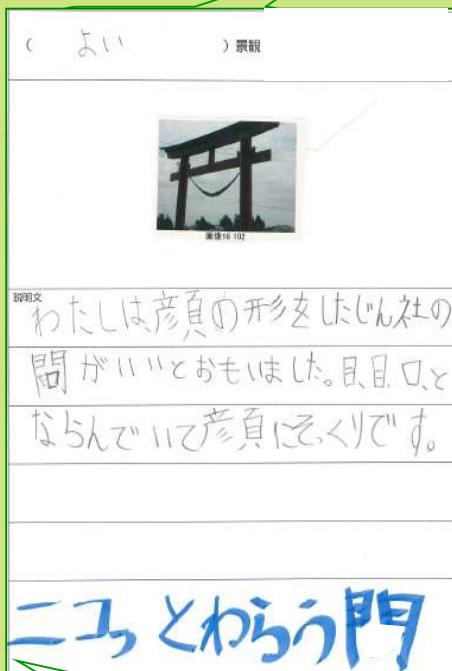
大判のマップにみんなで 1 枚にまとめてみよう♪

**③ 題名は？
《思いついでそのまま
書いてみよう》**



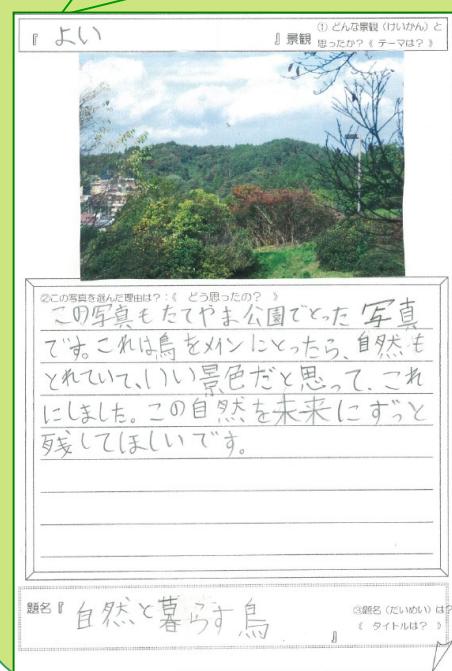
参考

景観シート事例



「ニコッとわらう門」
普段、気にしていない景観
も良く観ると、新たな発見
があります。

「自然と暮らす鳥」
この自然を未来にずっと
残して欲しい！



身边な景観で気になるものが見えてきます

①「空を歩く馬」

②「空を走る馬」

③「空飛ぶ馬!？」

この写真を撮った理由は？：「どう思ったの？」
千鹿は、馬が有名で有名で、外灯に馬の置き物のようなものがついていました。ほかです。外出した外灯を見ると、千鹿がいます。馬が和やか見えます。

題名『空を走る馬』

この写真を撮った理由は？：「どう思ったの？」
この写真は、馬が空を飛んでいるように見えたので撮りました。でも下の棒がなければ、もてわか

やくなつたかも…？この写真には書いていませんが、下の車道歩道の端にあるガードの先に馬の形をした看板がついています。の馬は、平素に上げて設置された源氏馬が乗った黒い馬です。

この馬の写真からこの一枚を選んだのは、やっぱり歴史を感じたからだと思います。(笑)

題名『空飛ぶ馬!？』

「観光名所とゴミ達」
名所なのにもったいない、きれいにして
欲しい！

④

まとめ

まとめ、情報発信の方法には、様々な方法が考えられます。ここではその一事例を紹介します。

○クラス単位、グループ単位でのまとめ・発表

- 各自が選んだテーマ毎の写真、選んだ理由、タイトルをグループ毎やクラス毎に発表し、意見交換します。
- 自分では気がつかなかったみんなのまとめを聞き、観ることで、さらに新たな気づきが生まれます。

○景観マップの作成

- 大判の地図（AO 判等）に、グループ又はルート単位で好きな景観の写真や景観シート自体を貼り付け、状況に応じて、位置を明示したり、選定理由を付箋紙で貼り付けたり、地図にタイトルを付けたりなどして、景観マップを作成することで、グループ毎・ルート毎の特徴が見えてきます。
- 景観マップの発表又は掲示を通じて、自分たちのまちに好きな景観がたくさんあることに気づき、何がすばらしいのか、どうしてそうなっているのかなど考えるきっかけとなります。

○地域、保護者への情報発信

- とりまとめた景観シートや景観マップなどの成果を活用した学習発表会、校内での景観マップの紹介等を通して、景観や地域づくりに対する関心が持たれます。
⇒地域の景観の良さや悪い点などに目を向けてもらう機会が生まれます。
- 身のまわりの清掃や緑化など、暮らしの中の活動も良好な景観の形成に貢献する取り組みです。
⇒景観や地域づくりをしているという認識をもつきっかけとなります。



グループ毎に紹介



グループ毎に代表写真をクラスで紹介



少人数ならじっくりと



好きな景観でマップ作成



校内での景観マップの紹介



昔と現在の景観、暮らしの比較

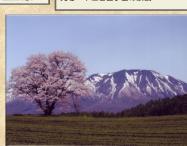
参考

『いわての残したい景観』ホームページ紹介

このサイトでは、岩手の美しい景観を今後も大事にしていくため、「いわての残したい景観」として、募集し紹介しています。

パソコンの授業などで各地域の残したい景観を題材にしてみるのはいかがですか。（リーフレットも県都市計画課で提供します）

URL <https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/machizukuri/1010126/index.html>

景[いわて]観
Iwate Landscape

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/toshigesui/machizukuri/1010126/index.html>

感想 先生の声

- 普段の授業で地域を歩いて回ることはないので、この景観学習によって、改めて自然の豊かさを実感することができました。“気づき”をありがとうございました。
- 子どもたちに、風景を見る視点として、「好きな所」「未来に残したい所」「不思議な所」などさまざまな視点があることを学ばせることができた。
- 地域を知るための総合的な学習に最適な学習だと感じました。
- いつも過ごしている身近な地域を歩いて写真に撮ることによって、新しい発見をすることが出来て、地域をより身近に感じることができました。また、地域の魅力や素晴らしさに気づき、興味や関心を持たせることができました。
- 学区探検だけでは気付かないことに気付くことができた。

感想 子どもたちの声

- 「よいなあ。」とか「いやだなあ。」というところを考えて、まとめるところが楽しかった。
- 自分たちの地域のことを知るよい機会になりました。
- すばらしい景観をたくさん見つけることができたので、みんなにおすすめしたいし、大切にしたいです。
- 他の友達も同じ写真をとっていても感じ方がちがいました。
- あまり行かない場所でも好きな景観を見つけることができたので、良かったです。違う場所でもいろいろな景観を見つけてみたいです。
- けいかんシートをたくさん書いて、いろいろな写真をはることができて楽しかった。
- 普段何気なく見ている風景の中にもたくさん変わってきてることに気付くことができた。

関連情報 市町村景観学習事業

- 北上市及び奥州市においても、景観学習に取り組んでおり、令和7年度は北上市立和賀西小学校、笠松小学校、東桜小学校、黒沢尻東小学校、南小学校、和賀東小学校、奥州市立前沢小学校、衣川中学校で景観学習を実施しています。



↑ 令和7年度景観学習実施状況 ↑

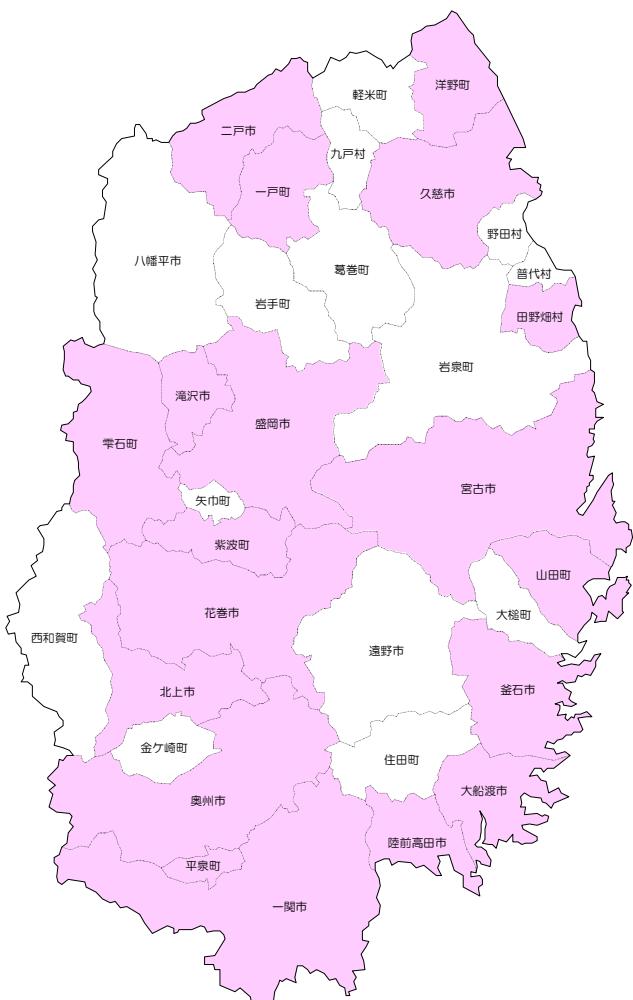
3. 取組事例 ~学習の流れ~

学校名		対象学年・人数	実施時期	講 師
1	零石町立 七ツ森小学校	◇ 学年：3年生 ◇ 対象：15名	5月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
2	滝沢市立 柳沢小学校	◇ 学年：3～6年生 ◇ 対象：13名	5月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
3	盛岡市立 東松園小学校	◇ 学年：3年生 ◇ 対象：19名	6月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
4	久慈市立 久慈湊小学校	◇ 学年：3年生 ◇ 対象：23名	6月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
5	零石町立 御所小学校	◇ 学年：4年生 ◇ 対象：11名	7月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
6	陸前高田市立 米崎小学校	◇ 学年：3年生 ◇ 対象：25名	9月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)
7	陸前高田市立 矢作小学校	◇ 学年：5・6年生 ◇ 対象：7名	10月	講師：菊池広人氏 (NPO 法人いわて NPO-NET サポート事務局長)

■景観学習実施市町村位置図 (令和8年3月末現在)

凡例： 景觀學習實施市町村

平成22年度以降、33市町村のうち
19市町村において景観学習を実施。



標準的な学習の流れを紹介します。

学習の流れ	概要	記録
<p>① 計画準備</p> <p>② まち歩き ガイダンス 1コマ：45分</p> <p>1日目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 講師スケジュール、授業内容・日程調整に係る打合せを実施 ● まち歩き・情報整理等に使用する備品等の準備調整 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 学校、県都市計画課で準備できる備品を確認。対応は各段階参照 </div> ● まち歩きルートの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日程は、1回目の授業を学校行事予定等をふまえ6月下旬、2回目の授業を7月下旬に設定 ● 講師の派遣は、県都市計画課と調整 ● 授業内容は、②まち歩き、③情報整理、④まとめ のとおりに決定 ● 学校周辺の地図により、講師と調整し2ルートを設定（1班：8人、2班：6人）
<p>② まち歩き まち歩き 2コマ：90分</p> <p>1日目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● “景観”、“まち歩き”について授業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ：「景観ってなに？」 ：「まち歩きのヒント」 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 準備備品→パソコン、モニター (実施校で準備。学校によっては、 ブロッケーター・スクリーン) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 派遣された講師がガイダンス授業を実施 
<p>② まち歩き まち歩き 2コマ：90分</p> <p>1日目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ（ルート）毎にまち歩きをし、デジタルカメラで様々なテーマをもって、自由に撮影 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 準備備品 →デジタルカメラ (県都市計画課 備品を貸出可) </div>	
<p>③ 情報整理 ④まとめ 景観シート作成 景観マップ作成 発表 2コマ：90分</p> <p>2日目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A4判用紙に15枚写真をインデックスプリントしたのと、各テーマに沿って写真を選ぶ ● 景観シートに選んだ写真を貼り ①テーマ ②どう思ったか ③タイトルをまとめる ● 各児童がまとめた景観シートから、みんなに教えた景観を選び、撮影位置をマップにプロットし、景観マップを作成。 	  

学習の流れ	概要	記録
<p>※ 発展取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 景観学習のまち歩きの際、30年ほど前に作られた標語柱を発見。 ⇒児童が再生を提案 ● 学区内の地域の家庭に呼びかけて標語を募集。 ⇒264作品応募 ● 地域住民が提供した角材で標語柱を手作り。 ⇒学区内の14箇所に設置 ● 標語柱再生への取組の発表会を地域の方々の前で実施。 ⇒地域づくりのきっかけ <p>先生の声</p> <p>児童が地域の人とコミュニケーションする良い機会になり、地域とのつながりが深くなりました</p>		 

◆ 支援情報

◎県都市計画課では、各学校での景観学習の実施のご相談に対応しています。

各種項目	相談事項	支援事項
貸出備品	デジタルカメラ、クリップボードについて、学校所有備品だけでは足りない。	県都市計画課の備品を無料貸し出します。 ・デジタルカメラ（40台） ・クリップボード（必要に応じて） (ただし、他校の授業との日程調整が必要な場合があります)
大判地図	景観マップを作成したいが、大判地図（地図データ）が用意できない。	県都市計画課又は各振興局土木部、市町村の景観又は都市計画担当部局にご相談ください。
講師派遣	大学や地域で景観に関わっている専門家の支援を受けたい。	岩手県まちづくりアドバイザー、大学、支援団体等から講師をコーディネートし派遣します。 講師派遣経費は、原則として県が負担します。

◎景観学習支援団体

※県都市計画課を経由しても調整いたします。

団体名	所在地	問い合わせ先	備考
NPO 法人いわて景観まちづくりセンター	盛岡市	TEL 019-653-1058 FAX 019-653-1056	景観整備機構 (岩手県指定)
NPO 法人いわて NPO-NET サポート	北上市	TEL 0197-61-5035 FAX 0197-61-5036	景観整備機構 (北上市指定)

《問合せ先》 岩手県県土整備部都市計画課 景観まちづくり担当 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1
電話 019-629-5891 FAX 019-629-9137
URL <https://www.pref.iwate.jp/soshiki/kendo/1016073.html>
E-mail AG0007@pref.iwate.jp